

経営比較分析表（令和6年度決算）

和歌山県 白浜町

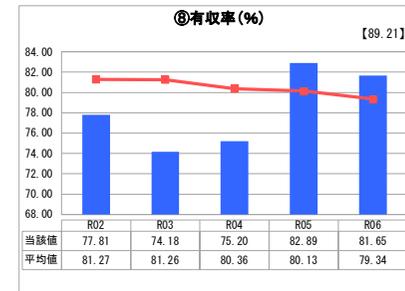
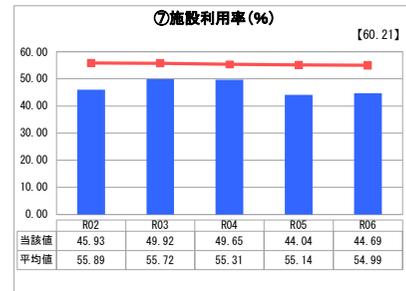
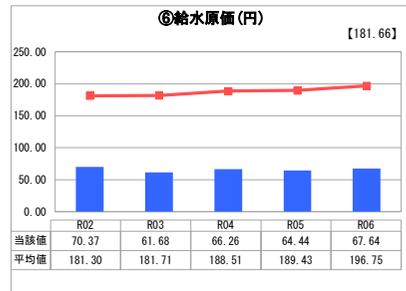
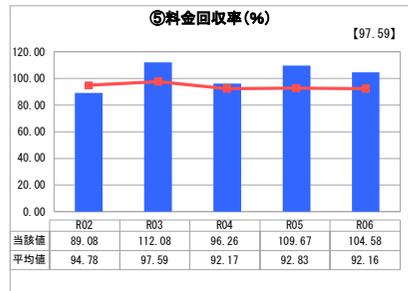
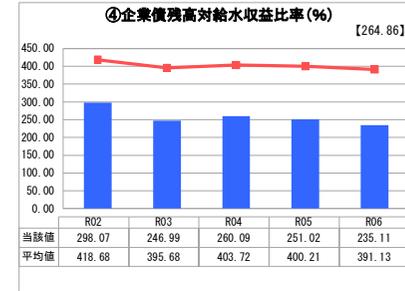
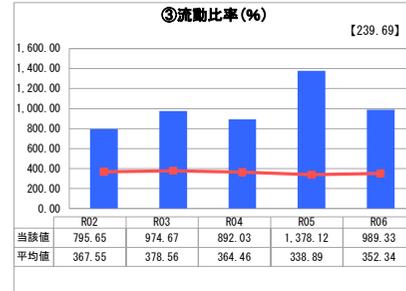
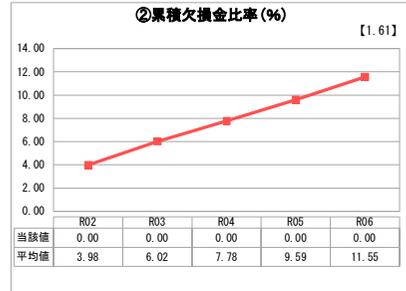
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A6	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	76.47	95.49	1,529	

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
19,753	200.99	98.28
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
18,732	41.95	446.53

グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

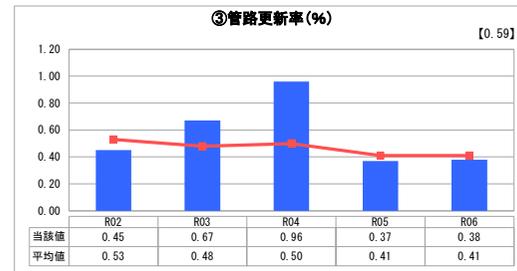
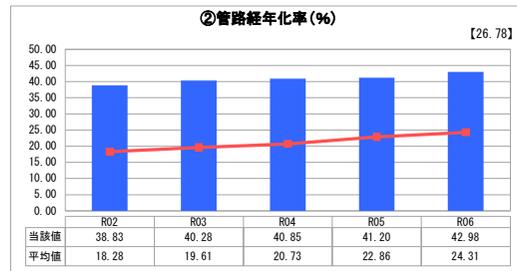
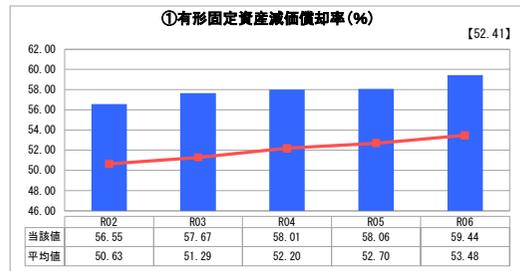
1. 経営の健全性・効率性について

- 経常収支比率
単年度収支が黒字で、100%以上の数値となっているが、今後、電気代や物価の高騰が予想される。また、老朽化施設、管路等の更新費用の増加のため、財源確保を図る必要がある。
- 流動比率
100%を超え、類似団体の平均値を上回っていることから短期的な債務に対する支払い能力は確保できている。
- 企業債残高対給水収益比率
類似団体平均値より低い水準で推移している。老朽化等による施設、管路の更新を控えており、企業債の借入れも予定しているため、今後は上昇していくと予想される。
- 料金回収率
100%を超えているが、更新投資等に充てる財源確保等、今後も健全経営を維持する必要がある。
- 給水原価
類似団体平均値と比較して低い水準を維持している。
- 施設利用率
類似団体平均値と比較して低水準で推移している。施設更新時には規模等の見直しの検討が必要と思われる。
- 有収率
漏水調査の実施により向上している。引き続き漏水調査の実施、老朽管の更新等により有収率の向上に努めなければならない。

2. 老朽化の状況について

- 有形固定資産減価償却率については、類似団体と比較しても高い水準で推移しており、引き続き順次更新投資を継続していく。
類似団体の平均値と比較しても、②管路経年率が高くなり、③管路更新率は昨年度同様に、低い水準となっている。管路の老朽化に対して、更新が追いついていない現状を改善するためにも更新投資の増加が必要があるが、大規模な施設の更新も控えているため財源を確保しながら実施する必要がある。

2. 老朽化の状況



全体総括

現時点では経営の健全性は概ね確保できているが、給水人口の減少等による収益の減少、老朽化施設、管路等の更新投資財源、物価の高騰による費用の増加など今後厳しい経営環境になることが予想される。
老朽化の状況から、大規模な施設、管路について、これまで以上に更新投資が必要と考える。
今後も経営の安定、健全性を保ち、長期的な財源を確保しつつ経営基盤強化に努めたい。